

# 平成36年度までの財政収支見込みについて

本市では、新年度予算(案)をお知らせするこの時期に合わせ、向こう10年間にわたる各年度の取入および支出の見込みを立て、「長期財政収支見込み」として作成、公表しています。

今回、平成36年度までの長期財政収支見込みを作成しましたので、その概要をお知らせします。(詳細は、本市のホームページをご覧ください)

●**収支の状況**  
以下の表は、平成28年度から36年度までの歳入および歳出について、市税をはじめとした一般財源の歳入と、一般財源でまかなう歳出を抜き出して示したものです。  
少子高齢化社会の進行に伴う高齢者の医療費や子育て施策などの社会保障関係経費の増加に加えて、公共施設の整備・改修のため、歳出全体の増加が見込まれることから、歳入歳出差引の9年間の合計は3億円となり、昨年度に作成した収支見込の37億円と比べると減少しています。

【収支の見込み(一般財源ベース)】 (単位:億円)
表: 年度(28-36), 歳入, 歳出, 歳入歳出差引

※端数処理のため差引および合計が一致しないことがあります。

●**これからの財政運営**  
収支については、9年間を通してみるとおおむね均衡していますが、以下の点については十分に注意して財政運営を行います。

- 少子高齢化の影響により、社会保障関係経費は平成37年度以降もさらに増加するものと見込んでいます。徐々に厳しい収支となることが予想されることから、将来の社会保障関係経費の増加に備えた財政運営が求められます。
- 長期財政収支見込みでは、市営住宅の集約建て替えに伴い清算できる土地をはじめ、土地の売却収入を多く見込んでいます。しかし、このような収入は一時的であることから、経常的な支出を増やさないう現在行っている事務や事業は常に見直しを行い、より簡素で効率的な行財政運営に努めます。
- 公債費については、平成25年度および26年度に繰り上げ償還を積極的に行い、以後の償還額を減らすことができる見込みですが、震災による借入がまだ多く残っていることや、市営住宅建て替え事業などの新たな事業により依然として高い水準にあるため、引き続き市債残高の縮小に努めます。
- 長期財政収支見込みでは、当面予想される経費について考慮していますが、J R 芦屋駅南地区整備事業費や南芦屋浜地区小学校に係る建設費など、現段階で検討中あるいは事業実施が未確定で、事業費や財源が明らかでない経費は含んでいません。新しい事業を行う場合は、財源の確保など慎重に検討を行います。



## ●●●● 平成27年度 予算(案) ●●●●

Table: Budget by category (General Accounting, Special Accounting, etc.)

### 平成27年度の主な新規・拡充事業など

- 【健康・福祉】 中学校3年生までの通院医療費無料化(所得制限あり) 2億5,113万円
- 【教育】 体育館・青少年センター改修事業 6億6,322万円
- 【都市基盤】 上宮川町住宅駐車場整備工事 3,100万円
- 【その他】 本庁舎北館・南館整備事業 8億6,328万円

### 市民一人当たりに使われるお金は

Table: Per capita expenditure breakdown (Total: 448,861円)

※平成27年1月1日現在の住民基本台帳人口 97,068人で試算しました。

- 【総務費】 市役所全体の事務費や税金の徴収に要する経費
- 【土木費】 道路や都市計画公営住宅などに要する経費
- 【衛生費】 保健や環境などに要する経費
- 【教育費】 学校や幼稚園、その他社会教育に要する経費
- 【公債費】 市債(借入金)の元金や利子の支払に要する経費

一般会計の予算額は、4,35億7,000万円、前年度に比べて6億7,000万円、1.6%の増加となっています。

【市税】 市の歳入で最も多く、全体の49.6%を占めています。

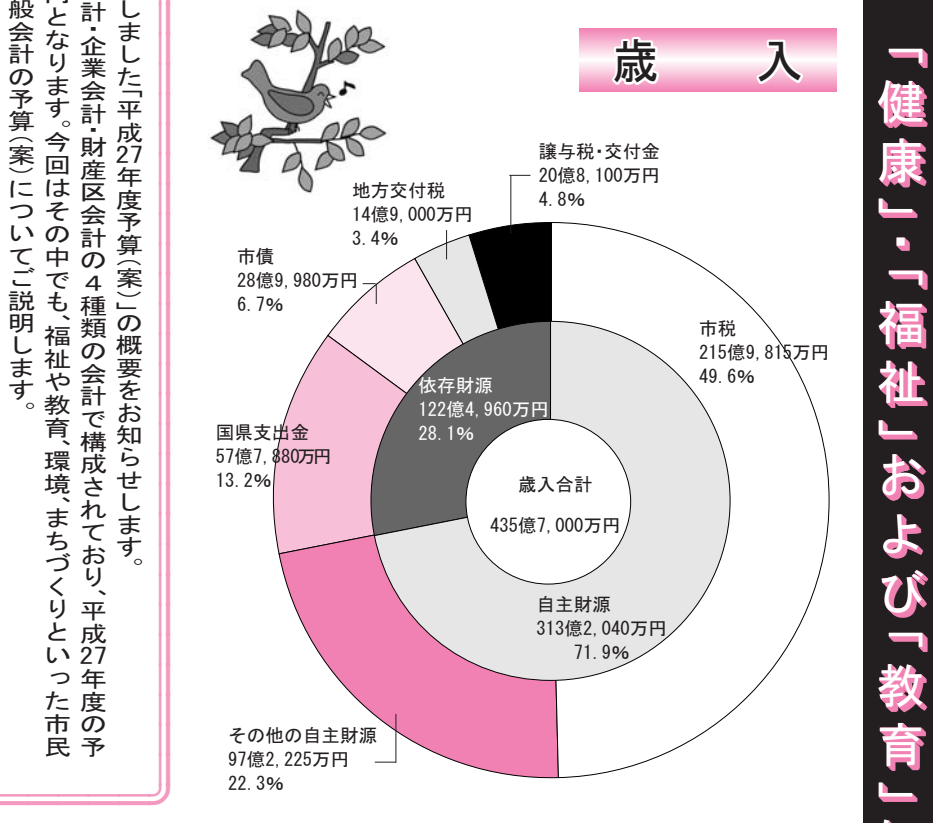
【市債】 借入金です。体育施設整備事業債等の増加により、3.7%、1億2,200万円の増加となります。

## 予算を家計にたとえると...

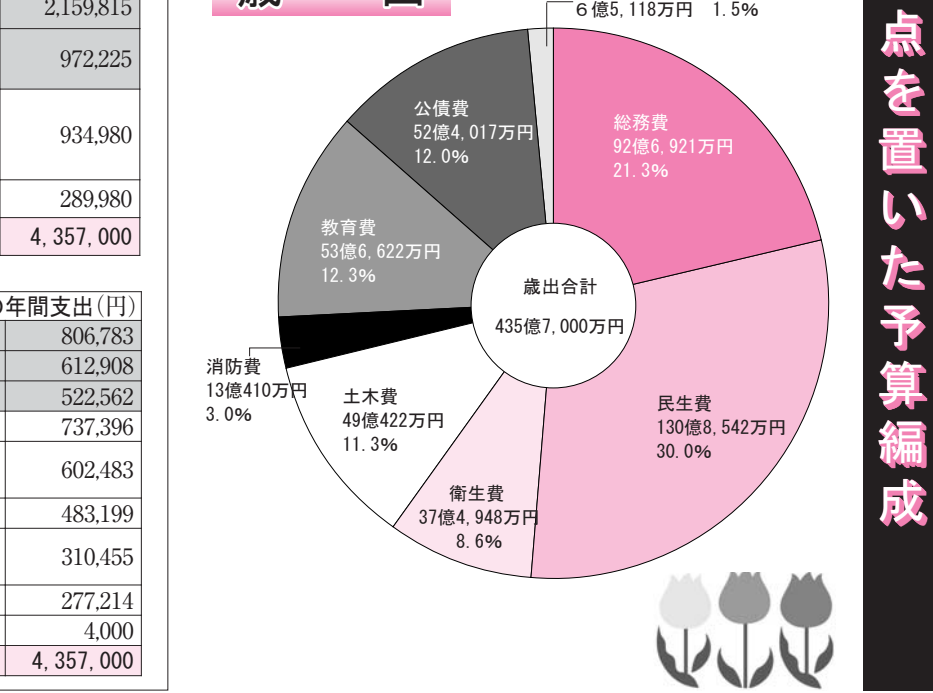
平成27年度予算を家計にたとえました。収入については給与収入等の自主財源の割合が多いのが特徴です。支出については、償還経費の減少により、ローンの返済が減少しています。

# 平成27年度 予算(案)概要

2月17日開会の市議会に提案しました「平成27年度予算(案)」の概要をお知らせします。



## 歳出



「健康」「福祉」および「教育」に重点を置いた予算編成

GATV 広報番組ガイド
芦屋市広報番組 あしやトライ あんぐる
3月後半 (15分)

美術博物館の催し
第63回芦屋市展
古文書講座「浮世絵を読み解く part. 1」
アートスタディプログラム
ワークショップ「MARK IN THE CITY」

谷崎潤一郎記念館の催し
【春の特別展】大谷崎展
【谷崎映画名作選】「春琴抄」上映会